

美しい国づくり政策大綱別冊

美しい国づくりのための取り組み事例

国 土 交 通 省

目 次

美しさの形成を内部目的ととらえた事業の実施、公共施設等の管理

各種事業における景観形成

良好な景観形成を目的としたモデル事業の推進	2
歴史等の資源を活かした事業等	4
構造物、施設の意匠・色彩の工夫	8
素材の工夫	12
緑化の推進	13
水辺・海辺空間の保全・再生・創出	16
自然環境への配慮、創造、再生	17
まちづくりと一体となった事業	20
景観プロポーザル方式の積極的な適用	21
シンボルとなる公共施設、公共建築物の整備	21
公共空間の適切な維持管理	22
公共施設等のライトアップによる夜間景観形成	23
事業や管理への住民・NPO等参画の推進	24
工事現場の美化	27

規制・誘導策の推進

都市計画等による規制の推進	28
条例による誘導	30
景観ガイドラインによる誘導	31
地権者等による景観保全のためのとりきめ	31
自動車排ガス規制による黒煙の低減	32

景観阻害要因の除却

違反屋外広告物の除却	33
電線類の地中化	34
消波ブロックの撤去	35

多様な担い手の育成と参画推進


イベント	36
表彰	37
景観や自然の学習	39

各主体による取り組みの前提となる条件整備


情報の収集・蓄積と提供・公開	41
技術開発	42

総合的取り組み

地域の計画づくりの推進	43
多様な主体の関わる大規模事業における景観ガイドライン策定の推進	45
各種施策や関係機関の連携	45
施策の組み合わせによる総合的な取り組み	46



国土交通省は、美しい国づくり・地域づくりのためこれまでも各種施策を実施してきました。本編はこれら各種施策及び先駆的な取り組みの事例をまとめ、紹介するものです。各地域において美しい地域づくりを担う各主体が、地域の個性を活かした様々な取り組みを行うにあたり参考となることを期待するものです。



美しさの形成を内部目的ととらえた事業の実施、公共施設等の管理

公共建築物やターミナル施設、市街地、公園・緑地、下水道、道路、河川、海岸、港湾、空港の整備や管理において、美しさの形成を内部目的ととらえ、美しい地域づくりの先導的役割を果たしていく。

各種事業における景観形成

良好な景観形成を目的としたモデル事業の推進

都市景観形成モデル都市制度

重点地区を定め、景観形成の基本計画に基づき街路事業、公園事業等を複合的に実施し、景観形成を総合的に実施（昭和 63 年から平成元年に 34 都市を指定）



山形県鶴岡市／疎林広場、大宝館



シンボルロード整備事業

都市の顔となる質の高い街路を、沿道と一体的に整備することにより、良好な街並みを形成



青森県青森市／中央大通り荒川線

ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業

土地区画整理事業により、街全体の建物が同時に更新されることとなり、これを機に住民が建物の外観ルール（地区計画や任意のルール）を作り、統一感のある良好な街並みを形成



北海道美瑛町

歴史的港湾環境創造事業

歴史的に価値の高い港湾関連施設の保全及びその積極的な活用を図り、文化的で歴史的な香りの漂う快適な港湾空間を創造するための事業を実施



静岡県清水市／清水港

自然豊かな海と森の整備対策事業

海岸防災林と連携し自然環境と利用に配慮した白砂青松の海岸を創出



福井県敦賀市／敦賀港海岸

白砂青松の海岸整備事業

美しい海岸線と富士山（三保の松原）



静岡県静岡市／清水海岸

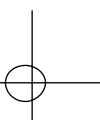
エコ・コースト事業

義経岩等周辺景観と馴染む自然石等を用いた緩傾斜護岸の導入により景観に配慮



富山県高岡市／伏木富山港海岸

歴史等の資源を活かした事業等



歴史的官庁施設の保存活用

既存の歴史的建築景観を保全するとともに床面積の増大等の需要に対応する改築を実施



兵庫県神戸市／神戸地裁

歴史的建築物を活かした交流施設の整備

昔からの風景や屋敷林に囲まれた環境を保全しつつ、伝統的建築物である「旧甘楽邸」の古材を活用した交流施設「べに花ふるさと館」を整備



埼玉県桶川市

身近なまちづくり支援街路事業

周囲の歴史的景観と調和のとれた街路整備を実施



埼玉県川越市

歴史的街なみの保全と整備

街なみ環境整備事業による助成等により、歴史的街なみを保存するとともに、周囲の歴史的景観と調和のとれた街路を身近なまちづくり支援街路事業により整備



奈良県橿原市今井町



歴史的建造物を活用した市街地再開発

市街地再開発事業の中で、歴史的建造物である横浜銀行本店別館（旧第一銀行横浜支店）の一部を保存し、歴史的景観との調和を図った事例



神奈川県横浜市／北仲通地区

歴史的建造物を再生、活用した都市公園整備

歴史的建造物を再生し、歴史的景観を配慮した公園を整備



沖縄県那覇市首里



地域固有の歴史等を活かした河川整備

蔵を利用した街並みに調和した河川整備のため、川の根継工においては雑割石と松丸太による伝統的な工法が採用されており、歴史的風景の維持に貢献



栃木県／巴波川

歴史的砂防設備の保全と活用

近年文化財登録が増加している歴史的砂防設備について、文化財に相応しい適切な維持管理、周辺の一体的整備等を実施し、豊かな自然環境と地域を守りつづけてきた砂防の歴史にふれる自然体験学習の場として活用



静岡県／木和田川

歴史的な橋梁の保全

名勝「耶馬溪」を背景に美しいシルエットを映し出す
大正 12 年 3 月に完成、全長は 116m あり、日本最長の石橋として、県の有形文化財に指定され、石橋の技術と歴史を今に伝える



大分県下毛郡本耶馬溪町

歴史国道の整備

歴史国道に選定されている日田往還は歴史上重要な幹線道路として利用され、当時を彷彿させる景観を一定区間残し、地域の人々によって保存、復元、活用



大分県中津市～日田市

地域の歴史等を活かした鉄道車両

足尾銅山からの鉱石輸送用鉄道として活躍していた頃の面影を残した色の車両を導入



群馬県勢多郡／神戸駅（わたらせ渓谷鉄道）

歴史的港湾施設の保全・活用

港湾整備にあたり、歴史的港湾施設を港湾文化の貴重な財産として保全・活用



神奈川県横浜市／横浜港赤レンガパーク

構造物、施設の意匠・色彩の工夫

官庁施設の景観への配慮

国会議事堂周辺の景観保全等のため、議事堂の高さに配慮した施設計画



東京都千代田区／霞ヶ関地区

下水道施設の意匠の工夫

各都市が、様々なデザインのマンホール蓋を使用し、見た目も配慮した事例



河川施設の意匠の工夫

「清津峡」は名勝・天然記念物が多く存在する観光地であり、さらにこれより上流域では苗場スキー場を中心とした観光地でもある

「七ツ釜下流砂防えん堤」は自然環境との調和をめざし全国で最初に擬岩パネル修景型枠により施工された砂防えん堤である



新潟県中魚沼郡中里村／清津峡、七ツ釜下流砂防えん堤

道路施設の意匠の工夫

名橋万代橋にならった優雅なアーチ曲線をモチーフとした美しさにより周辺景観との調和を図った事例



新潟県新潟市

寒冷地における防波堤の意匠の工夫

樺太への連絡線の発着場に通じる道路・鉄道等への波よけの機能を持つ防波堤(昭和11年完成)
古代ローマの建造物のような独特の意匠は他に類がない(北海道遺産に指定)



北海道稚内市/稚内港北防波堤ドーム

河川事業、公園事業の連携した工夫

河川事業、公園事業の連携により積極的に景観整備を実施



東京都/隅田川桜橋

港湾施設の意匠の工夫

芝生や木材など自然素材を積極的に使用したターミナルの整備



神奈川県横浜市/大さん橋国際客船ターミナル

空港施設の意匠の工夫

東西ターミナル連絡橋そのものを新しい羽田空港のシンボル施設として整備



東京都大田区／羽田空港

海岸施設の意匠の工夫

消波ブロックを撤去し、緩傾斜護岸を整備した事例



熊本県苓北町／富岡港海岸

ハイグレードバス停

企業自らが整備した、日本庭園を思わせるハイグレードバス停
バリアフリー対策にも配慮



岡山県岡山市／オージー技研前バス停

素材の工夫

地場木材を使用した公園施設

地場生産のカラマツ集成材を活用して公園内施設整備を実施



長野県南安曇郡豊科町／国営アルプスあづみの公園

木製の道路防護柵

自然と調和したデザインの歩道を設置した事例



宮城県桃生郡鳴瀬町

木造公営住宅

地場生産の木材を活用した木造公営住宅



岩手県遠野市

優良な木造住宅団地の整備

建築協定・HOPE計画に基づく地域の伝統的な意匠を活用した木造住宅団地の整備、モデル公共施設の整備



富山県八尾町

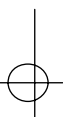
県産の木材を活用した空港ターミナル

ターミナルビル内の随所に県産の木材を活用



高知県／高知空港

緑化の推進



都市公園の整備

都市公園事業により都市内に緑地を整備し良好な景観を形成



河岸段丘斜面緑地

石川県金沢市

緑化施設整備計画認定制度の推進

屋上緑化等民有地の緑化を推進し良好な景観を形成



東京都港区／六本木ヒルズけやき坂テラス

河岸の植生の回復

多孔質なかごマットを用いて護岸を整備することにより河岸の植生を回復し、水と緑の連続した水辺空間を再生



茨城県／小貝川

緑を生かしたかけ崩れ対策

緑豊かな斜面空間を創出するため、既存樹木を残したまま斜面の安全度を最大限に高める「緑の斜面工法」を積極的に導入



東京都大島町



街路樹による道路の緑化

街路樹などの整備による良好な道路環境の創出



東京都練馬区／北町付近

道路法面の緑化

森林等の自然環境の豊かな地域の道路のり面等において、樹木の植栽を実施



高知県中村市／県道川登中村線

空港周辺の緑化

空港周辺の緑化にあたり、市民の憩いの場として緑地を整備



千葉県成田市／成田空港周辺

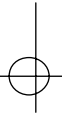
港湾の緑化

周辺環境等に配慮した緑地整備による良好な港湾環境を整備



愛知県名古屋市／名古屋港ガーデン埠頭

水辺・海辺空間の保全・再生・創出



下水道整備での水質改善による水辺空間の創出

下水道事業による水質改善と周辺環境整備により、良好な水辺空間を創出



佐賀県佐賀市松原川

下水処理水の利用

処理水を大分城跡のお堀に供給



大分県大分市

河川事業での水質改善による水辺空間の再生

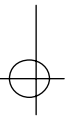
河川浄化事業、下水道事業など関係機関との連携により水環境の改善を図り、良好な歴史的景観を再生



島根県松江市松江堀川



自然環境への配慮、創造、再生



公園事業における緑の再生

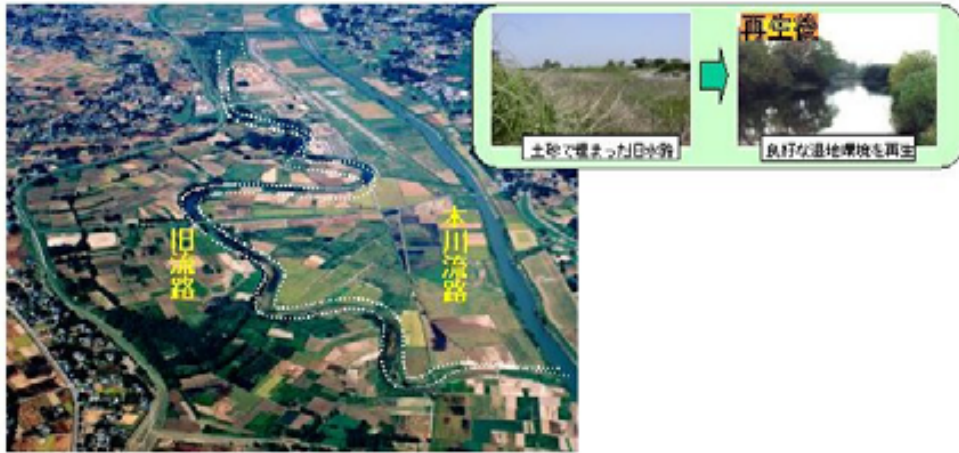
子供から大人まで様々な人々による植樹の実施など、市民参加による緑地再生を推進



滋賀県守山市／びわこ地球市民の森

河川の自然再生

自然が作り出す河川の蛇行や瀬・淵、その周辺に広がる湿地・河畔林など、多様な生物が生息・生育する河川環境を再生



埼玉県桶川市、川島町／荒川

干潟の再生

浚渫土砂を活用し干潟を再生するとともに、多くの生物が生息する海辺の美しい景観を回復



愛知県蒲郡市／三河湾西浦地区

海岸の再生

サンドバイパス・サンドリサイクルを行い、海浜の復元を図る環境に優しい環境循環型事業



京都府宮津市／宮津港海岸

湿原の再生

野生生物の重要な生育・生息の場として国際的にも価値の高い湿原を地域一体となって再生



北海道釧路湿原

山の自然再生

奈良時代以前はヒノキ・スギ等からなる美林を形成、大和朝廷の度重なる遷都に伴う宮殿造営や社寺建立のため伐採が進み、二次林（マツ）に更新され、その後、信楽焼の燃料薪として乱伐され、江戸時代後期には風化した花崗岩が露頭するはげ山になった
明治時代より本格的に砂防事業を実施、失われた緑を着実に復元



天神川流域の荒廃状況（昭和45年）



地元学生による植樹の様子



山腹工等の実施により荒廃山腹に緑が復元

滋賀県／田上山

河川事業におけるビオトープの整備

河川が本来持っていた豊かな生態系を取り戻す試み（在来植生地被率の向上）



埼玉県北本市／荒川

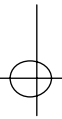
道路事業におけるビオトープの整備

在来性植生の復元への取り組み



埼玉県川口市／外環川口JCT

まちづくりと一体となった事業



まちづくりと一体となった官庁施設整備

官庁施設整備にあたり、まちづくりと一体的に整備



愛知県岡崎市

まちづくりと一体となった河川整備

河川敷と民有地の一体的利用を図ることにより、開かれた水辺空間が創出され、また、周りとの調和や景観に配慮した整った街並みを形成



福岡県北九州市／紫川馬借地区

景観プロポーザル方式の積極的な適用

景観プロポーザル方式

景観設計に関し、質の高い取り組みをしているコンサルタントとの設計契約を取り結ぶ方法を試行的に実施

バイパスを「緑の回廊」と位置づけ、起承転結のある風景をランドスケープデザインの視座から具現化、地形・景観・環境・地域特性などの与条件との整合性が高く、道路構造だけでない総合的な提案



秋田県／角館バイパス（仙北郡田沢湖町羽根ヶ台～仙北郡角館町月見堂）

シンボルとなる公共施設、公共建築物の整備

超一流の技術やセンスを大胆に取り入れることにより世界に誇れ歴史に残る公共施設、公共建築物の整備を行う。

デザインコンペ方式による空港施設の整備

ターミナルビルの設計時に国際デザインコンペを実施（設計者：レンゾ・ピアノ）



大阪府／関西国際空港ターミナルビル



公共空間の適切な維持管理

道路へのごみ捨て対策

道路へのごみ破棄を道路植栽により抑止



埼玉県熊谷市／熊谷バイパス

海洋・海域の清掃

海洋・海域に浮遊するゴミや油を回収し、海の環境の保全や船舶航行の安全のために活躍している清掃兼油回収船



東京湾／清掃兼油回収船「べいくりん」

放置艇対策

プレジャーボートの適正な係留・保管対策の推進



神奈川県横浜市／横浜港横浜ベイサイドマリーナ

公共施設等のライトアップによる夜間景観形成

歴史的官庁施設のライトアップ

中央合同庁舎 6 号館赤レンガ棟のライトアップ



東京都千代田区

砂防施設のライトアップ

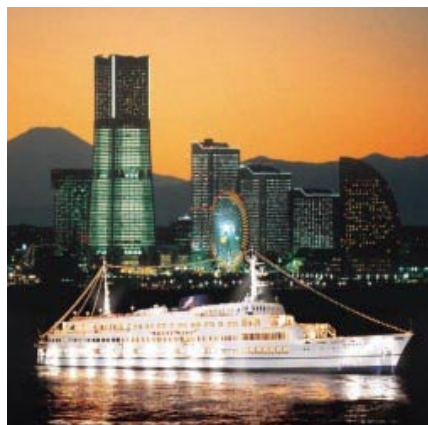
陶磁器の産地である地域性を生かした親しみのある砂防えん堤を目指して建設
陶磁器ギャラリーやライトアップ施設を設置



岐阜県多治見市市之倉町

船のライトアップ

レストランシップをライトアップすることにより、都市景観と一体となった親水空間を創造し、
観光を振興



神奈川県横浜市／みなとみらい 21 地区

事業や管理への住民・NPO等参画の推進

市民緑地

土地所有者が緑地を市民へ公開することを支援・促進する市民緑地制度の活用により、当該緑地における市民参加型の管理を推進



埼玉県鶴ヶ島市／第1号太田ヶ谷市民の森

市民による道路施設の管理

橋のたもとの落書きを市民ボランティアにより除去を行うことで公共施設管理の住民参加を推進



新潟県新潟市／一般国道7号万代橋

専門家と住民の意見に基づく港の色彩計画

景観の専門家と住民・地元企業等の協力により、色彩計画に基づいた統一的で良好な港湾景観を形成

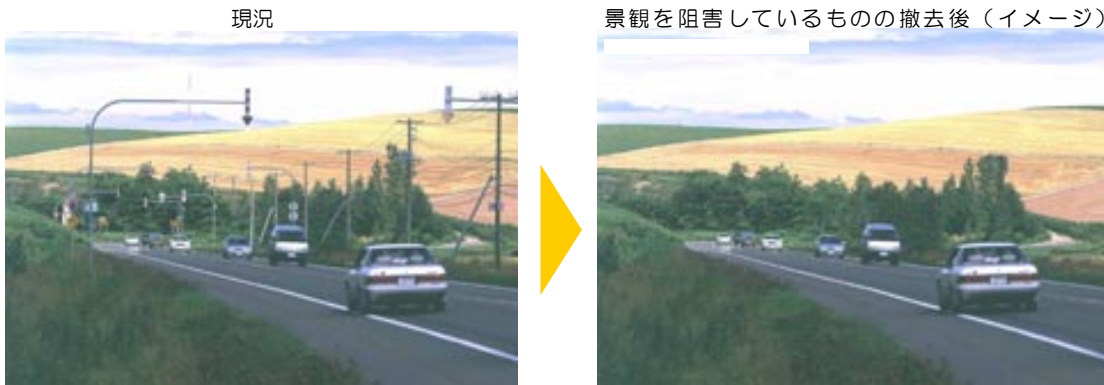


静岡県清水市／清水港



シーニックバイウェイ制度

地域住民による活動団体を中心に、北海道において美しいツーリング環境や個性的な地域環境の創造を目指す取組み



現況

景観を阻害しているものの撤去後（イメージ）

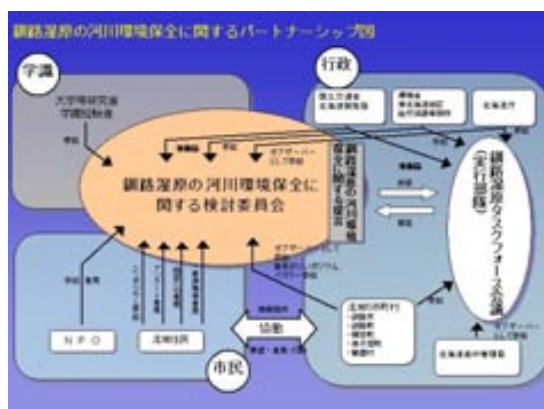
北海道富美瑛町付近

住民と協働した自然環境保全活動

国立公園であり、ラムサール条約登録湿地ともなっている釧路湿原の乾燥化を防止し、周辺を含めて優れた自然環境を保全するため、流域住民や関係機関が一体となって取組み



北海道釧路湿原



流域市町村・住民と一体となった河川流域での植樹運動

石狩川の流域市町村、住民が一体となり、流域の豊かさを次世代に引継ぎ、緑を守り育てる意識を持ちつつ植樹を行う地域主体の取組みを支援



北海道石狩川流域

住民参加による河川の管理

川の里親である地域の市民や企業、学校等が、日常の河川の清掃等を行い、地域の財産として管理



一級河川旭川

NPOによる植樹活動と連携した砂防事業

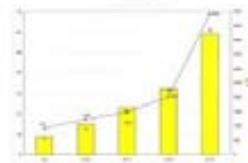
銅山での精錬に伴う煙害や山火事により、荒廃・裸地化が著しく進行、大規模な土砂流出も発生した荒廃山地を、NPOによる植樹活動と連携し山腹緑化を実施



市民の手による植樹活動と連携した
荒廃山地の山腹緑化



山腹は裸地化が進んでいる



市民の植樹への参加

栃木県足尾町／渡良瀬川

住民参加による道路の管理

地域や企業の方が道路の美化清掃等に参加（ボランティアサポートプログラム）



千葉市花見川区／一般国道14号



住民参加による海岸の管理

民放等の呼びかけにより毎年ボランティアによる海岸清掃を実施



石川県／石川海岸

工事現場の美化

工事仮囲いのデザイン化

工事仮囲いのデザイン化によるイメージダウンの緩和



東京都中央区／日本橋界限



規制・誘導策の推進

土地利用や建築活動に対し、良好な景観形成を図るために地域の特性に応じた規制・誘導策の適用を推進する。

都市計画等による規制の推進

伝統的建造物群保存地区

伝統的建造物群保存地区に指定し、歴史的街なみを保存



岐阜県高山市

高度地区

都市計画において高度地区を定め、松本城周辺の建築物の高さを規制し、良好な眺望景観を形成



長野県松本市／松本城周辺地

都市における緑地の保全

緑地保全地区により市街地に残された緑地を保全し、緑豊かな都市景観を形成



愛知県名古屋市／熱田神宮緑地保全地区

古都における歴史的風土の保存

わが国往時の政治、文化の中心等である古都において、古都法に基づく土地利用規制等により歴史的風土を適切に保存



奈良県高市郡／明日香村の集落

条例による誘導

戸田市都市景観条例

市の景観条例により、3軒以上隣接する住民が景観形成のための協定を締結している場合に、その費用を助成



埼玉県戸田市

倉敷市美観地区景観条例等

倉敷美観地区は、昭和40年代から活発な保存活動が行われ、伝統的建造物群保存地区保存条例や美観地区景観条例による保全だけでなく、市独自の伝統美観保存条例、倉敷川畔伝統的建造物群保存地区背景保全条例を組み合わせることで良好な景観を保全

これらにより、江戸時代の商家の街並みが残され、毎年300万人以上の観光客が来訪



岡山県倉敷市

景観ガイドラインによる誘導

大阪市建築美観誘導制度

周辺景観の向上に資し、かつ景観上優れた建築物を表彰することにより、個性と風格のある都市景観を形成



光世証券本社ビル



八木通商北浜ビル

地権者等による景観保全のためのとりきめ

建築協定

建築協定により、住宅地等の景観保全（横浜市美しが丘中部自治会建築協定）



神奈川県横浜市／青葉区美しが丘



緑地協定

緑地協定により計画的な緑化が図られ地域の環境・景観レベルが向上



静岡県藤枝市／藤枝清里第1区緑地協定

土地所有者と借地者の取り決め

大規模土地所有者と借地者との景観保全に関する契約により、質の高い景観を保全



京都府京都市／祇園町南側地区

自動車排ガス規制による黒煙の低減

ディーゼル排出ガス対策による都市環境の保全

大気環境の改善及び景観の保全を図るため、ディーゼル排出ガス対策を推進



景観阻害要因の除却

悪い景観（景観阻害要因）と誰もが認めるものの除去・改良を積極的に推進する。

違反屋外広告物の除却

街路における「はり紙」の除却

都市景観の向上を図るため、都道府県知事等が条例に基づき、違反簡易屋外広告物の除却を実施



兵庫県神戸市



民間による除却

違反簡易屋外広告物を撤去するため、都道府県知事等からの委託に基づき、民間が除却を実施



大阪市／「かたづけたい」

電線類の地中化

幹線道路における電線類の地中化

電線類の地中化による良好な景観の創出



福岡県北九州市



区画道路における電線類の地中化

都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保等の観点から、電柱を撤去し電線を地中化



埼玉県川越市



消波ブロックの撤去

消波ブロックの撤去

なぎさリフレッシュ事業により、消波ブロックを撤去し、再利用して人工リーフを整備することにより良好な砂浜を回復



静岡県／富士海岸

多様な担い手の育成と参画推進

美しい国づくり・地域づくりの主体となる地域住民やNPO、行政機関職員、専門家等の意識や技術を高め、その活動を促進するため、イベントや表彰による啓発、研修や学習の推進等を行う。

イベント

「都市景観の日」

10月4日を都市景観の日と定め、都市景観大賞の表彰を行うとともにパネルディスカッション等の中央行事を実施し、景観に関する啓発活動を推進。同時期に全国で100超の関連行事を実施



「みどりの愛護」のつどい

皇太子同妃両殿下ご臨席の下、「みどりの愛護」功労者表彰を行う等、緑豊かな潤いのある住み良い環境づくりを啓発



表彰

公共建築賞の表彰式

優れた公共建築を表彰することにより公共建築の総合的な水準及び公共建築に対する国民の意識の向上に寄与



甦る水 100 選

下水道が水環境の保全回復に資する事例を表彰し、「見える」下水道の効果をアピール



大阪市／平野せせらぎの里

「わが村は美しくー北海道」コンクール

良好な景観形成や人の交流、地域特産物づくりの観点から、地域資源を活用し、活力ある農産漁村を築くための住民主体の活動をコンクール



地域の日常的まちづくりによる癒し感ある景観
北海道標茶町

水の郷百選

水の郷百選の一例

- うちめきが育む…水の都 愛媛県西条市
- ◆地下水がいたる所で自噴する「うちめき」と呼ぶ湧水のあるまち
 - ◆水と歴史的遺産を活かした親水都市の整備
 - ◆市民・事業者・行政が一体となった河川の清流保全への取り組み



うちめき(自噴水)



アクトピア事業(公共下水道事業・雨水親整備川)による「親水公園」



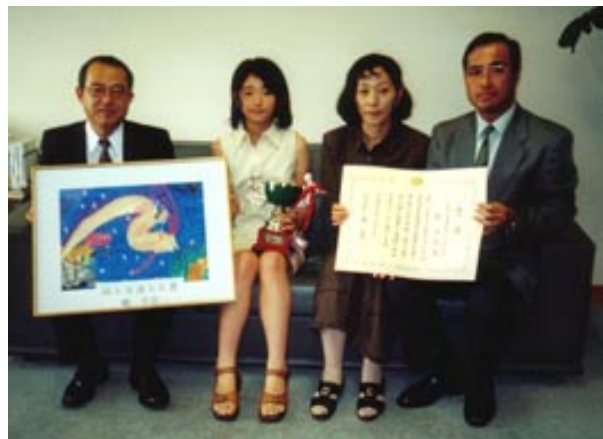
「うちめき」の水を汲みに来た市民



「うちめき」の水を飲む子供達

愛媛県西条市

全国海の絵画コンクール・我ら海の子展



海洋環境保全推進週間 図画コンクール

海洋環境保全推進週間に併せ図画コンクールを開催



北海道小樽市



関東の鉄道の駅百選

梨畑に隣接した、のどかな農村に佇んでいる駅舎は、大正 15 年 8 月開業以来現在も当時のままの建物



茨城県下妻市／関東鉄道常総線騰波ノ江駅

景観や自然の学習

河川での学習

水辺における子供たちの環境学習・自然体験活動の推進



大阪府／近木川

海岸での学習

臨海学校を通して、海岸愛護の普及と啓発を図る



海と船の体験教室

海の日などに海と船の体験教室などを実施



海での学習

スノーケルによる海上遊泳の技法と共に、海中生物の観察指導を通して、児童への環境教育を実施



千葉県館山市／館山港

海岸漂着ゴミ調査

次世代を担う小学生達などと、海岸漂着ゴミ分類調査を実施



沖縄県宮古島

各主体による取り組みの前提となる条件整備

情報の収集・蓄積と提供・公開

景観を検討するため基礎となる情報について蓄積し、地方公共団体、住民等に対して提供・公開していく。

重要文化財に指定された砂防施設リスト

文化財登録された歴史的砂防設備について、文化財に相応しい適切な維持管理、周辺の一体的整備等を実施することにより、豊かな自然環境と地域を守り続けてきた砂防の歴史にふれる自然体験学習・啓発の場として活用



長野県牛伏川

技術開発

行政による景観施策の推進や住民等による自主的な取り組みのため必要となる技術を開発、普及させる。

環境に配慮した建設資材の開発

富士山では、浮きレール構造でかつ最小回転半径を小さくしてそこに生息する動物や植物の生態系・景観等に及ぼす影響を最小限に抑えた砂防工事用の建設資材輸送方法として軌道方式のHEARTシステムを開発



静岡県大沢



自然再生技術の開発

世界最大級の実験水路（延長約 800m）を有する研究施設（平成 10 年完成）



自然共生センター

人工的に干潟を再現した実験施設（平成 6 年完成）



干潟実験施設



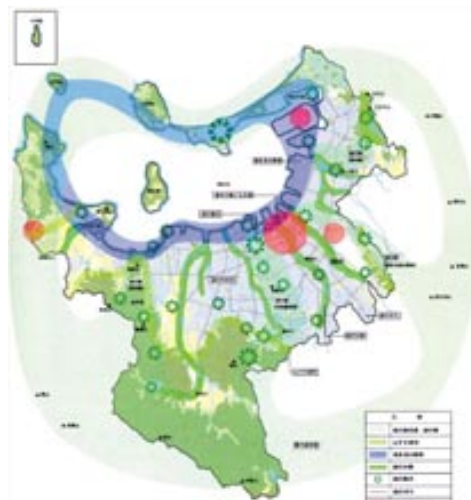
総合的取り組み

良好な景観形成には様々な要素が全体として調和することが必要であり、その実現のためには事業などのハード施策と規制・誘導などのソフト施策の連携、行政機関相互や住民、企業等各主体との連携、協調が重要である。

地域の計画づくりの推進

緑の基本計画

市町村が緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを定める基本計画であり、緑地の保全および緑化の推進を総合的、計画的に実施



福岡県福岡市／福岡市緑の基本計画

水源地域ビジョン

ダムは地域活性化の核として、水源地域の良好な景観形成、水辺と緑の一体的な整備などを行う、水源地域活性化のための行動計画（水源地域ビジョン）の策定・推進



イメージ図



水源地域ビジョンの一例（草木ダム）

河川整備計画

河川整備計画において、関係住民等の意見を聴取しつつ、地域の特性を活かした景観づくりについても考慮

河川整備計画の計画づくりの段階から景観に考慮している。かつて紅花の路として栄えた舟運・河岸の歴史文化（イメージ写真）の継承・醸成が図られるよう、河岸景観の維持・形成に努める。



最上川河川整備計画（東北地整）より

HOPE計画（地域住宅計画）

遠野市HOPE計画の策定を通じて、地元が主体となり地場産の木材を活用した住宅整備を推進するとともに景観に配慮した街並み形成を実施



岩手県遠野市／大工町通り

港湾計画における景観形成ゾーン

老朽化した港湾施設を再生し、魅力ある水辺空間を創出するため港湾計画に景観形成ゾーンとして位置づけ



佐世保港／PR21パース

多様な主体の関わる大規模事業における景観ガイドライン策定の推進

空港整備における景観ガイドライン

外観の色彩による個性化は行わず、ニュートラルな色彩を選定



東京都大田区／羽田空港

各種施策や関係機関の連携

実効を高めるためにハード施策・ソフト施策の連携、観光行政や関係機関との連携を図っていく。

東京湾の「海の再生」

関係省庁、地方自治体が連携のもと、広域のかつ総合的な施策を展開することにより、快適に水遊びができ、多くの生物が生息する親しみやすく美しい東京湾の「海の再生」を実施



施策の組み合わせによる総合的な取り組み

規制制度と事業制度を総合的に活用したまちづくり【滋賀県彦根市本町地区】

【背景・課題】

彦根市本町地区は、彦根城城下町として古い歴史があり、昭和40年代までは市街地の中枢であったが、行政施設の移転、道路幅員の狭さ、駐車場不足等により商業地区としての衰退が進んでおり、街並みを始め市街地の再整備が必要であった。

【取り組みのポイント】

- ・街路（夢京橋キャッスルロード）の拡幅に際し、沿道住民が主体となり専門家を含めて組織される委員会において、伝統的な街並みの再生を目指し、具体的な計画づくりを実施
- ・地区計画を都市計画決定し、建築物の形態・意匠に関する基準などを規定。意匠については建築条例の規制により建物景観を伝統的な街並みに統一
- ・シンボルロード整備事業、街並み・まちづくり総合支援事業（現「まちづくり総合支援事業」）の活用により、街路などの都市基盤が整備され、伝統的街並みを構成
- ・都市再生土地区画整理事業により、夢京橋キャッスルロードに隣接する商店街の賑わい再生を目指した基盤整備を実施中。また、まちづくり協定に基づき魅力的な景観づくりを実施中

【成果】

- ・彦根城城下町である当該地区が新たな観光資源として再生され、活性化に寄与
- ・夢京橋キャッスルロード整備後も、住民の自主的な歩道や植栽の維持管理が継続
- ・景観に関する受賞（全国街路事業コンクール会長賞、都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」等）

伝統的な街並みに配慮して基盤整備された夢京橋キャッスルロード



地区計画により再生された城下町らしい沿道建物



河川を活かしたまちづくり [津和野川／祭りと出会う川：島根県津和野町]

【背景・課題】

津和野町は、七百年の歴史を有する落ち着いたたたずまいをもつ“山陰の小京都”とも呼ばれる山間の城下町である。

しかし、中心市街地にある幾つかの施設やまちなみに観光イメージが集中し、周辺地域に散在する施設間の関係が図れていない状態であったことから、観光地としての広がりがなく、このため、滞在時間の短い、立ち寄り型観光地に止まっていた。

このような背景から、津和野川を軸に散在するまちの魅力を結びつけるとともに、歴史と自然とが調和するまちづくりを実施することとなった。

【取り組みのポイント】

- ・地元住民と景観デザインを専門とする学識経験者を交え、川と地域の今後の関係について十分検討を行い、地元商工会の協力による観光関連施設の充実の他、周りの自然や風情に馴染み人々が楽しく集える場となるよう河川の景観設計を実施。
- ・町の環境保全条例に基づき、建築物・工作物等の高さ、色彩、屋根の材質、植栽等の規制指導を実施
- ・歴史的まちなみの整備とふるさとの川整備事業の融合により、津和野川沿いを新たな観光動線の軸とした、河川と一体的な空間形成が実現。

【成果】

- ・津和野川と観光施設の庭園等を一体として整備したこと、河川を様々な祭りやイベントの場として整備したことにより、まちの特徴となる空間が形成された。
- ・津和野川沿いに創り出した観光関連施設間の動線整備によって、観光客の滞在時間が長くなり、徐々に滞在型観光地として賑わいを取り戻しつつある。
- ・地域の河川に対する関心が高まり、除草や清掃など地元住民の自発的な日常管理が行われるようになった。
- ・河川景観整備において、2002年度土木学会景観・デザイン委員会デザイン賞の優秀賞を受賞した。

背後の公共施設と川に挟まれた用地を買収し、両者を一体的に整備することで、開放的な水辺空間を創出した。



川沿いのまちなみ空間と一体的に河川を整備し、住民や観光客に親しまれる空間とした。



地域住民との連携による多自然型川づくり【神奈川県／梅田川】

【背景・課題】

梅田川では、治水安全度向上のための河川改修を進める中で、周辺に残された環境や風景などと調和のとれた水辺をつくり、川を散策する人々のやすらぎ・憩いの場を提供することを、川づくりの目的としている。そこで、子どもたちが川で遊び・学ぶことができ、自然環境と生態系に配慮した、安全で親しみのある川づくりを行った。

【取り組みのポイント】

- ・川づくりワークショップを開催、整備計画に反映
- ・水辺の楽校協議会を設立、水辺の楽校プロジェクトに登録するなど地域等と連携
- ・工事着手前には魚類の保護のためのイベントを、工事完了後には保護した魚類をもとの川に戻すイベントを実施
- ・水辺の楽校協議会主催による川遊びや生物調査などを毎年実施
- ・横浜市の歴史的建造物である杉沢堰（農業用の取水堰）を現状で保存するため、河川法線に曲線を入れるとともに、広がりのある水辺拠点を整備

【成果】

- ・低水路及び護岸天端の植生が回復
- ・梅田川水辺の楽校協議会の活動内容として、子どもたちが川に親しみ、安全に遊べるように、行政と地域等との連携を図りながら、毎年夏と秋にイベントを開催

杉沢堰上流部の低水路及び護岸天端の植生回復状況



工事完了を記念して行われたイベント「バックトゥザ梅田川」



規制制度と事業制度を総合的に活用したまちづくり [大阪府大阪市／御堂筋沿道地区]

【背景・課題】

御堂筋はビジネス都市大阪の中心として成長、企業の本社機能が集積しているが、他の国際都市と比べ訪れた人が集い憩える空間が少ないという問題があり、沿道空間の演出等により、都心部の活性化が求められている。

【取り組みのポイント】

- ・文化を楽しみながら人々が散策できる空間をつくることを目的に、大阪市は平成3年から沿道企業に協力を呼びかけ、世界の彫刻作品を沿道に設置。淀屋橋から心齋橋まで26作品を展示。
- ・平成12年11月、行政、経済団体等で「新しい時代の御堂筋」協議会を設立、翌13年4月に建物所有者・企業が自主的にまちづくりを進める際の道しるべとして「御堂筋活性化アクションプラン」を策定。同プランの一環として、側道を利用したオープンテラス等の社会実験を実施するなど、行政と地域が連携し、賑わい空間の創出を実施。
- ・従前より道路管理者（国土交通省）、大阪市、沿道企業等が協力し、落ち葉清掃等の道路管理体制を築きつつ、基本的に無剪定で、シンボルの銀杏並木を保全・維持。平成15年3月には道路局「緑陰道路プロジェクト」に指定

【成果】

- ・沿道の800本の銀杏が、平成12年12月「御堂筋銀杏並木」として大阪市指定文化財に指定

御堂筋（銀杏並木と高さ100尺で統一された沿道ビル）



港湾施設の再生によるみなとまちづくり [長崎県佐世保市/佐世保港三浦地区]

【背景・課題】

佐世保港の三浦地区は、これまで主に物流及び生産の拠点として機能してきたが、港湾施設の老朽化が進み港湾機能の低下が問題となっていた。また、当該地区は、佐世保駅の駅裏地区というマイナスイメージもあり、佐世保の玄関口に位置しながらも魅力的な空間利用が十分図られていなかった。このため、当該地区の立地特性を十分に活かし、人、物、情報などの交流機能を有する「みなとまち」への再生による地域活性化が求められていた。

【取り組みのポイント】

- ・既存の港湾施設を再生し、生産・物流機能に加え、大型旅客船が接岸できる岸壁や商業施設、観光レクリエーション施設、臨海公園などを配置し、「心やさしい海辺のまち」として再整備
- ・市民アンケート調査やグループインタビューをはじめ、近海航路旅客ターミナル公開設計コンペ、臨港広場を考えるワークショップ等、情報の共有化と協働によるまちづくりを推進
- ・駅周辺地区においては、佐世保のイメージづくりのために都市景観上、特に重要な地区として、景観づくり要綱に基づく『景観形成地区』に指定されており、景観アドバイザー制度の活用や、区画整理地区と一体的に進める電線類の地中化等の取り組みと連携

【成果】

- ・三浦地区が新たな観光拠点として再生され、みなとまち佐世保の活性化に寄与
- ・景観に関する受賞等【全日本建設技術協会賞受賞（鯨瀬ターミナル）、景観形成モデル港指定】

クラシックなイメージの本館と、総ガラス張りの展望タワーからなる鯨瀬ターミナル（平成元年完成）



佐世保港の地域性に相応しい外観デザインが評価され、平成12年度公開設計コンペ最優秀賞を受賞した近海航路旅客ターミナル（平成15年完成予定）

